

- 問1 民法が改正され成年年齢が引き下げられたことにより、18歳に達した者が保護者（法定代理人）の同意を得ずに行えるようになった行為として、適切なものはどれですか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）
1. 自分一人でスマートフォンの購入契約をしたり、クレジットカードを作ったりすること。
 2. 健康への影響を考慮して制限されていた、飲酒や喫煙をすること。
 3. 競馬や競輪などの公営競技（ギャンブル）の投票券を購入すること。
 4. 国民年金の被保険者となり、毎月の保険料を納付し始めること。
- 問2 日本の選挙制度において、各選挙区の議員1人あたりの有権者数に大きな開きが生じている状態を何と呼びますか。この状況は、有権者が持つ1票の影響力（価値）に不平等をもたらすとして、憲法上の課題となっています。（2020年 岩手県公立入試 類似）
1. 一票の格差
 2. 死票の増大
 3. 政党交付金の不均衡
 4. 重複立候補制度
- 問3 一つの選挙区から一人の代表者を選出する小選挙区制において、ある選挙区の有権者数が482,314人、別の選挙区の有権者数が231,343人である場合、民主政治の観点から指摘される課題として最も適切なものはどれですか。（2023年 栃木県公立入試 類似）
1. 有権者数が少ない選挙区の方が、一票が議席に結びつく割合が高くなり、投票価値の平等が損なわれている。
 2. 有権者数が多い選挙区では、落選した候補者に投じられた「死票」が必ず少なくなるため、民意が正確に反映されている。
 3. 全国平均の有権者数（365,418人）を超える選挙区を増やすことで、都市部の代表者を減らす必要がある。
 4. 一票の重みを揃えるために、すべての選挙区の有権者数を最も少ない231,343人に統一しなければならない。
- 問4 日本の選挙において、若い世代の意見が政治に反映されにくいと言われる主な理由を、人口構成と投票行動の二つの観点から説明したものととして、最も適切なものを選びなさい。（2018年 奈良公立入試 類似）
1. 少子高齢化によって若い世代の人口が少ないことに加え、若い世代の投票率も低いこと
 2. 若い世代の人口は多いものの、学生や労働者の投票を制限する制度的な不備があること
 3. 若い世代の人口が少ない一方で、高齢者の投票率が極端に低いため、政治家が混乱していること
 4. 若い世代の投票率は高いものの、都市部への人口集中によって一票の格差が生じていること
- 問5 日本の衆議院議員選挙で採用されている「小選挙区比例代表並立制」は、2つの異なる制度を組み合わせた仕組みです。この制度を導入している最大の目的として最も適切な説明を選びなさい。（2024年 宮崎公立入試 類似）
1. 小選挙区制の利点である政局の安定と、比例代表制の利点である多様な民意の反映を両立させ、互いの欠点を補完すること
 2. 選挙にかかる費用を大幅に削減し、候補者のポスター掲示や演説の機会を平等に確保すること
 3. 小選挙区で発生する死票を完全になくすために、すべての当選者を政党の得票率のみに基づいて決定すること
 4. 各都道府県の人口差による『一票の格差』を解消し、どこの地域でも同じ人数の議員が選出されるようにすること
- 問6 インターネット投票の導入を検討する際、通信を利用する民間企業が抱える運用上の課題と同様に、解決すべき重要な問題が指摘されています。導入に向けた大きな課題となっているものはどれですか。（2021年 長野県公立入試 類似）
1. 投票用紙の印刷や配送にかかる物理的な手間が、現在の選挙よりも増大すること。
 2. インターネット環境を持たない高齢者のために、すべての家庭に専用端末を配布する義務が生じること。
 3. サイバー攻撃によるデータの改ざんを防ぐセキュリティ対策や、厳格な本人確認の信頼性確保。
 4. 一度に大量のアクセスが集中することで、投票結果の集計に数週間以上の時間がかかること。
- 問7 衆議院議員総選挙における投票方法について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。（2022年 佐賀公立入試 類似）
1. 小選挙区の投票用紙には候補者の氏名を書き、比例代表の投票用紙には政党の名称を書いて投票する。
 2. 小選挙区の投票用紙には政党の名称を書き、比例代表の投票用紙には候補者の氏名を書いて投票する。
 3. 小選挙区、比例代表ともに、候補者の氏名または政党の名称のどちらを書いてよい。
 4. 小選挙区の投票用紙には候補者の氏名を書き、比例代表の投票用紙には候補者の氏名または政党の名称のいずれかを書いて投票する。
- 問8 小選挙区制と比較した際、ドント式などの計算を用いる比例代表制を採用することの主な目的や利点について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。（2022年 新潟県公立入試 類似）
1. 政党の得票率を議席数により正確に反映させることで、死票を減らし、少数の意見も政治に反映されやすくする。
 2. 特定の大きな政党が議席の大部分を獲得しやすくすることで、政権を安定させ、強力なリーダーシップを発揮させる。
 3. 有権者が政党名ではなく候補者個人の名前で投票するように促し、政治家と選挙民の結びつきを強める。
 4. 各選挙区の定数を1人に限定することで、選挙費用の削減と選挙管理の簡素化を図る。
- 問9 日本の将来の人口推計によると、2010年から2040年にかけて若年層の割合は減少を続けると予測されています。こうした人口構造の中で、若者の意見を政治により反映させるために解消すべき、現在の若年層に見られる特徴的な状況は何ですか。（2017年 富山県公立入試 類似）
1. 他の年代に比べて投票率が著しく低いこと。
 2. 高齢層に比べて人口割合が極めて高いこと。
 3. 政治家に対する寄付額が他の年代よりも多いこと。
 4. 住民票を移さずに選挙権を放棄する人が減少していること。
- 問10 日本の選挙における20歳から29歳の層（若年層）の投票動向について、60歳から69歳の層と比較して説明したものととして、最も適切なものはどれですか。（2019年 茨城県公立入試 類似）
1. 有権者数自体が少なく、かつ投票率も低い傾向にある。
 2. 有権者数は多いが、政治への関心が低いため投票率は低い。
 3. 有権者数は少ないが、主権者教育の影響で投票率は高い。
 4. 有権者数も投票率も、高齢者層とほぼ同程度である。
- 問11 小選挙区制には「死票」に関する課題があるが、その仕組みと影響について述べたものとして正しいものはどれか。（2020年 奈良公立入試 類似）
1. 当選者以外の候補者に投じられた票は議席に結びつかない「死票」となり、その割合が他の制度に比べて多くなる。
 2. 「死票」とは無効票のことであり、小選挙区制では投票用紙の書き間違いが起こりやすいため、死票が大幅に増加する。
 3. 得票率に比例して議席を割り当てるため、落選者に投じられた票も無駄にならず、死票はほとんど発生しない。
 4. 小選挙区制は多くの議員を選出するため、1票の価値が均等になりやすく、死票による民意の歪みは発生しない。
- 問12 日本の選挙制度において、比例代表制の仕組みを正しく説明しているものはどれですか。（2026年 三重公立入試 類似）
1. 有権者が政党名を記入して投票し、各政党の得票数に応じて議席を割り当てる制度。
 2. 候補者の氏名を記入して投票し、得票数が最も多い候補者が当選する制度。
 3. 全国を一つの選挙区とし、得票数の多い順に全ての候補者から当選者を決める制度。
 4. 各都道府県の人口に関わらず、全ての地域に均等な数の議席を配分する制度。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 自分一人でスマートフォンの購入契約をしたり、クレジットカードを作ったりすること。	成年（大人）になると、未成年者とは異なり、親の同意を得ずに自分の意思で契約を結ぶことができるようになります。具体的にはアパートを借りる、ローンを組むといった行為が可能になります。一方で、飲酒・喫煙・公営ギャンブルの禁止年齢については、健康被害や依存症を防ぐ観点から、法改正後も「20歳」のまま維持されている点に注意が必要です。また、国民年金への加入義務も20歳からとなっています。
問2	答え 1 一票の格差	憲法が保障する「法の下での平等」に基づき、すべての有権者の投票価値は等しくあるべきだと考えられています。しかし、人口移動などにより選挙区ごとの議員1人あたりの有権者数に差が出ると、1票が持つ影響力に違いが生まれるため、是正が求められます。
問3	答え 1 有権者数が少ない選挙区の方が、一票が議席に結びつく割合が高くなり、投票価値の平等が損なわれている。	議員1人を選ぶのに必要な票数が少なく済む「有権者数が少ない選挙区」では、相対的に一票の重み（価値）が大きくなります。提示されたデータでは、約48万人の選挙区と約23万人の選挙区で2倍以上の開きがあり、これが憲法違反の状態であるとして裁判が起こされることもあります。「死票」は小選挙区制において多数派以外の票が議席に結びつかないことを指す別の概念であり、有権者数の多寡だけで決まるものではありません。
問4	答え 1 少子高齢化によって若い世代の人口が少ないことに加え、若い世代の投票率も低いこと	現代の日本において、若年層の政治的影響力が低下している背景には、構造的な要因と行動的な要因の二つがあります。まず、人口構成の面で「少子高齢化」が進んでおり、全有権者に占める若い世代の人口が少ないという事実があります。これに加え、実際の選挙においても若い世代の投票率が他の世代と比較して低い傾向にあるため、政治家は票の獲得を期待しやすい高齢者向けの政策を優先する傾向が強まります。この現象は「シルバー民主主義」とも呼ばれ、世代間の公平性を欠く要因として問題視されています。
問5	答え 1 小選挙区制の利点である政局の安定と、比例代表制の利点である多様な民意の反映を両立させ、互いの欠点を補完すること	小選挙区制は、1つの選挙区から1人の当選者を選ぶため、大きな政党が議席を得やすく政権が安定するという長所がありますが、落選者に投じられた「死票」が多くなるという欠点があります。一方で比例代表制は、政党の得票率に応じて議席を配分するため、死票が少なく少数意見も反映されやすいという長所があります。衆議院ではこれらを組み合わせることで、それぞれの長所を活かしつつ、欠点の補完を目指しています。
問6	答え 3 サイバー攻撃によるデータの改ざんを防ぐセキュリティ対策や、厳格な本人確認の信頼性確保。	インターネット投票には、システムの脆弱性を突いた不正アクセスや、他人になりすまして投票する行為を防ぐための高度なセキュリティ対策が不可欠です。また、公正な選挙を維持するために、画面の向こう側の人物が有権者本人であることを確実に証明する仕組みの構築が、制度導入の大きなハードルとなっています。
問7	答え 1 小選挙区の投票用紙には候補者の氏名を書き、比例代表の投票用紙には政党の名称を書いて投票する。	衆議院の比例代表制は「拘束名簿式」と呼ばれ、政党があらかじめ当選順位を決めた名簿を提出しているため、有権者は政党名のみを記入します。参議院の比例代表制（非拘束名簿式）では、候補者名と政党名のどちらを書いてもよいという違いがあるため、混同しないよう注意が必要です。
問8	答え 1 政党の得票率を議席数により正確に反映させることで、死票を減らし、少数の意見も政治に反映されやすくする。	小選挙区制は1位の候補者以外への投票がすべて「死票」となるため、大政党に有利で二大政党制になりやすい傾向があります。一方、ドント式を用いる比例代表制は、各政党の得票数に応じて議席を分けるため、得票率と議席占有率の乖離が小さくなります。これにより、小規模な政党も議席を得やすくなり、多様な国民の意見を議会に反映させることができるという特徴があります。
問9	答え 1 他の年代に比べて投票率が著しく低いこと。	日本の年代別投票率を確認すると、60代が約68%の投票率を記録しているのに対し、20代は約33%、30代は約42%に留まっています。人口減少により若者の数自体が少なくなっている中で、さらに投票率までもが低い状況にあると、政治の世界における若者の影響力はますます限定的なものになってしまいます。そのため、若者の意見を政治に反映させるためには、この低い投票率を向上させることが重要な課題となります。
問10	答え 1 有権者数自体が少なく、かつ投票率も低い傾向にある。	少子高齢化が進む現在の日本では、人口構成において若年層の有権者数が高齢者層に比べて少なくなっています。それに加え、実際の選挙における投票率も20代は全世代の中で最も低い水準にあるため、選挙結果に対する若者の影響力が相対的に小さくなっています。
問11	答え 1 当選者以外の候補者に投じられた票は議席に結びつかない「死票」となり、その割合が他の制度に比べて多くなる。	小選挙区制では、1位の候補者1人だけが当選するため、それ以外の候補者に投じられたすべての票は議席に反映されません。これを「死票」と呼びます。比例代表制などと比較して、多くの票が切り捨てられることになるため、得票率と実際の議席数の割合に大きな差が生じ、少数派の意見が政治に反映されにくいというデメリットがあります。
問12	答え 1 有権者が政党名を記入して投票し、各政党の得票数に応じて議席を割り当てる制度。	比例代表制は、個人ではなく政党を対象として投票を行うのが基本です。衆議院の比例代表選出議員選挙では政党名を書き、参議院では政党名または候補者名のいずれかを書いて投票します。集計された各政党の総得票数に基づき、「ドント式」などの計算方法を用いて各党の議席数が決まります。これに対し、個人の得票数で当選者を決めるのは、主に小選挙区制や選挙区制（中選挙区制）の特徴です。